

第9小委員会

外 国 語

報 告 書

令和2年7月22日

第12地区教科書採択教育委員会協議会長 程 野 仁 様

第12地区教科書採択調査委員会第9小委員会委員長 山 本 尚

先に諮問のあった令和3年度から使用する中学校用教科用図書について、英語の教科書見本本の調査研究結果を次のとおり報告します。

記

1 調査研究の経過

第1回調査委員会（6月29日）

- (1) 配付された6者の教科書について、調査研究の観点や手順を協議した。
- (2) 各者の教科書を調査研究し、次回の選定委員会での検討資料とすることを確認した。

第2回調査委員会（7月9日）

- (1) 調査研究の観点や手順に基づいて作成した調査研究資料について協議した。
- (2) 報告書作成のための準備を行い、次回の調査委員会での協議内容を確認した。

第3回調査委員会（7月16日）

- (1) 作成してきた報告書について、作成の趣旨に基づき協議した。
- (2) 配付された6者の教科書について、報告書を作成した。

2 調査研究の方法

発行者から送付された教科書見本本について、以下の調査研究の観点に基づき、「教科書編集趣意書」及び北海道教育委員会が作成する「採択参考資料」を参考として行った。

ア 「取扱内容」について

- ・学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容及び学年・分野・領域等の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか。

イ 「内容の構成・排列・分量等」について

- ・内容の構成が、地域の実態や生徒の生活経験及び興味・関心などに配慮されているか。
- ・内容の排列が、学年の発達段階に応じて、体系的、発展的に組織されているか。
- ・内容の分量が、各分野や領域ごとに適切におさえられているか。

ウ 「使用上の配慮等」について

- ・生徒の学習意欲を高める工夫がなされているか。
- ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- ・目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は配慮されているか。

3 見本本の総合所見

(1) 東京書籍 「New HORIZON English Course」

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、次のような学習活動が取り上げられている。「Stage Activity 2」において好きな有名人について尋ね合ったり、有名人を紹介する文章を集めてクラス新聞を作成したりする活動（第1学年）。「Stage Activity 1」において、自分の好きなことや向いている仕事について伝え合ったりする活動（第2学年）。「Stage Activity 2」において、紹介したい日本文化について書いたり、文章を読んでコメントをし合ったりする活動（第3学年）など。
- 使用上の配慮等について、英語学習のポイントやコツを系統的に取り上げる「学び方コーナー」（全学年）や、「Key Sentence・Today's Point 一覧」（全学年）を設けたり、巻末に「学習をふり返ろう－CAN-DO リスト－」（全学年）を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。

(2) 開隆堂 「SUNSHINE ENGLISH COURSE」

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、次のような学習活動が取り上げられている。「Our Project 3」において、スピーチ原稿を書いたり、結果をグラフにまとめて発表したりする活動（第1学年）。「Our Project 4」において、スピーチをしたり、スピーチに対する感想を述べ合ったりする活動（第2学年）。「Our Project 7」において、スピーチのメモについてアドバイスし合ったり、スピーチについて質問をしたりする活動（第3学年）など。
- 使用上の配慮等について、英語の学習方法を紹介する「この教科書で学ぶみなさんへ」（全学年）や、辞書の使い方を紹介するページ（全学年）を設けたり、巻末に「英語で『できるようになったこと』リスト」（全学年）を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。

(3) 三省堂 「NEW CROWN English Series」

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、次のような学習活動が取り上げられている。「Project 2」において、おすすめの場所とその理由を整理したり、分担して原稿を作成したりする活動（第1学年）。「Project 2」において、修学旅行のプランについて提案する内容を考えたりする活動（第2学年）。「Project 2」において、国際交流イベントで地域の紹介をする発表原稿を書いたり、発表を聞く審査員になったりする活動（第3学年）など。
- 使用上の配慮等について、英語の学習方法を紹介する「この教科書のしくみ」（全学年）や、辞書の使い方などを紹介するページ（全学年）を設けたり、巻末に「What Can I Do?」（全学年）を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。

(4) 教育出版 「ONE WORLD English Course」

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、次のような学習活動が取り上げられている。「Project 2」において、アンケート調査を行ったり、結果をグラフにまとめて発表したりする活動（第1学年）。「Project 1」において、スピーチ原稿を書いたり、スピーチを聞いて感想を言ったりする活動（第2学年）。「Project 2」において、スピーチ原稿を書いたり、スピーチを聞いて感想を言ったりする活動（第3学年）など。

- 使用上の配慮等について、英語の学習方法を紹介する「How to Study」（全学年）や、辞書の使い方を紹介する「辞書についていっしょに学ぼう！」（全学年）を設けたり、巻末に「Can-Do 自己チェックリスト」（全学年）を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。

(5) 光村図書 「Here We Go! ENGLISH COURSE」

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、次のような学習活動が取り上げられている。「You Can Do It! 3」において、ウェブサイトの学校紹介の内容について考え、発表したり、コメントし合ったりする活動（第1学年）。「You Can Do It! 1」において、条件に合った観光プランを考えたり、観光プランを発表したりする活動（第2学年）。「You Can Do It! 2」において、学校に必要なものについての意見を読んだり、自分の意見を伝え合ったりする活動（第3学年）など。

- 使用上の配慮等について、英語の学習方法を紹介する「英語の学び方ガイド」（全学年）や、辞書の使い方などを紹介する「Your Coach」（第1学年）を設けたり、巻末に「CAN-DO List」（全学年）を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。

(6) 啓林館 「BLUE SKY English Course」

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、次のような学習活動が取り上げられている。「Project 2」において、友達や先生の紹介をしたり、紹介文を友達と交換し感想を伝え合ったりする活動（第1学年）。「Project 2」において、あこがれの職業についてスピーチをしたり、スピーチを聞いて質問し合ったりする活動（第2学年）。「Project 2」において、日本の伝統行事の紹介文を書いたり、原稿を交換して読み合いアドバイスをしたりする活動（第3学年）など。

- 使用上の配慮等について、授業で使う表現をまとめた「Classroom English」（第1学年）や「こんなときどう言うの？」（第2、3学年）や、学習を振り返る「Targetのまとめ」（全学年）を設けたり、巻末に「Can-Do リスト」（全学年）を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。

別紙様式 1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	英語・701 英語・801 英語・901	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3
				<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のスピーチや対話を聞いたり、友達に伝えるべき情報を聞き取ったりする活動(第1学年)、パーティーの計画についての対話を聞いたり、機内放送の情報を聞き取ったりする活動(第2学年)、社会的な話題に関する講演を聞いたり、ラジオの災害情報を聞き取ったりする活動(第3学年) <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学先を選んだ理由や落語の特徴を読んだり、図や表などを参考に、夏の計画の内容を読み取ったりする活動(第1学年)、職業体験のレポートを読んだり、時計の歴史に関する説明文の内容を読み取ったりする活動(第2学年)、俳句について説明する文章を読んだり、エネルギー問題に関する説明文の概要を読み取ったりする活動(第3学年) <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットや趣味、住んでいる場所について尋ね合ったり、レストランなどで注文したりする活動(第1学年)、旅行の計画について尋ね合ったり、乗り物での行き方を尋ね、答えたりする活動(第2学年)、世界の現状について感想や考えについて尋ね合ったり、相手の意見を受けて自分の主張を述べたりする活動(第3学年) <p>○ 「話すこと [発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活について調べたことを発表したり、思い出に残った学校行事について紹介したりする活動(第1学年)、してみたいことについて発表したり、クラスで人気のあるものについての調査結果を報告したりする活動(第2学年)、日本滞在中のおもてなしプランを発表したり、これまで経験したことを報告したりする活動(第3学年) <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介ポスターを書いたり、目的に合わせたグリーティングカードを書いたりする活動(第1学年)、日本の習慣やマナーをまとめたメモを書いたり、ホームステイのお礼の手紙を書いたりする活動(第2学年)、自分の意見や考えを加えた記事を書いたり、記事への意見文を書いたりする活動(第3学年) <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Stage Activity 2」において、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、有名人について尋ね合ったり、有名人を紹介するクラス新聞を作成したりするなど、グループで課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動(第1学年)、「Stage Activity 1」において、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の好きなことや仕事について伝え合ったり、10年後の自分へのメッセージを書いたりするなど、グループで課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動(第2学年)、「Stage Activity 2」において、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本文化について書いたり、書いた文章を読んでコメントし合ったりするなど、グループで課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動(第3学年)
				<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校において学習した特技や将来の夢の職業を尋ね合ったり、体験したことを発表し

<p>内容の分量・構成・排列</p>	<p>たりするなどの活動を踏まえ、友達で紹介スピーチをしたり、冬休みの思い出を尋ね合ったりした後に、中学校生活の楽しさを伝える内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第1学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年において学習したおすすめの世界遺産を紹介したり、春休みの思い出を発表したりするなどの活動を踏まえ、おすすめのレストランを紹介したり、世界遺産を紹介したりした後に、自分の町のおすすめの場所を紹介する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第2学年） ・第1、2学年において学習した行ってみたい国を尋ね合ったり、その国の言語を確認したりするなどの活動を踏まえ、考えなどを加えて記事を完成させたり、尊敬する人物を発表したりした後に、ディベートをする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第3学年） <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 総ページ数 167 ページ、前回より約 6% 増 ・第2学年 総ページ数 159 ページ、前回より約 2% 増 ・第3学年 総ページ数 155 ページ、前回より約 1% 減
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 英語学習のポイントやコツを系統的に取り上げる「学び方コーナー」(全学年)や、「Key Sentence・Today's Point 一覧」(全学年)を設けたり、巻末に「学習をふり返ろう-CAN-DO リスト」(全学年)を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 北海道に行くことについての対話を位置付けたり、北海道に生息する動物を取り扱ったりするなど、北海道の素材を、第3学年で2ページ取り扱っている。</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

別紙様式 1

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	9・開隆堂	第1学年 第2学年 第3学年	英語・702 英語・802 英語・902	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3
取扱内容	<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物紹介やスピーチを聞いたり、店内放送で宣伝している内容を聞き取ったりする活動（第1学年）、夢の旅行についてのスピーチを聞いたり、天気予報の内容を聞き取ったりする活動（第2学年）、記者会見でのやり取りを聞いたり、非常時のアナウンスの内容を聞き取ったりする活動（第3学年） <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の説明や自己紹介を読んだり、旅行先から送られた絵葉書の内容を読み取ったりする活動（第1学年）、人物についてのポスターを読んだり、職場体験についての発表の内容を読み取ったりする活動（第2学年）、学校紹介のホームページを読んだり、フェアトレードについての発表の内容を読み取ったりする活動（第3学年） <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい仲間について尋ね合ったり、マッピングを基にペアで即興で話したりする活動（第1学年）、将来なりたい職業について尋ね合ったり、好きな季節について説得力のある主張をしたりする活動（第2学年）、電車の乗り換えの仕方について尋ね合ったり、テーマを基にディスカッションをしたりする活動（第3学年） <p>○ 「話すこと [発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分や紹介したい人物について発表したり、絵や写真についてスピーチをしたりする活動（第1学年）、夢の旅行を企画して発表したり、この1年で得た宝ものについてスピーチをしたりする活動（第2学年）、中学校の思い出をまとめて発表したり、地元のものを外国の人にPRしたりする活動（第3学年） <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介カードを書いたり、自分のことについてのスピーチ原稿を書いたりする活動（第1学年）、調べたことを基にポスターを書いたり、物語について自分の意見を書いたりする活動（第2学年）、自分の学校を紹介する文を書いたり、中学校の思い出の原稿を書いたりする活動（第3学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Our Project 3」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチ原稿を書いたり、結果をグラフにまとめて発表したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第1学年）、「Our Project 4」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチをしたり、スピーチに対する感想を述べ合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第2学年）、「Our Project 7」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチのメモについてアドバイスし合ったり、スピーチについて質問をしたりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第3学年） 			
	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校において学習した自己紹介をしたり、友達へのインタビューをしたりするなどの 			

<p>内容の分量構成・排列</p>	<p>活動を踏まえ、自分についてスピーチをしたり、人物について紹介したりした後に、自分が選んだ絵や写真についてスピーチをする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第1学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年において学習したインタビューをしたり、スピーチから英語のきまりを考えたりするなどの活動を踏まえ、グループでプレゼンテーションをしたり、調べた情報を基に文を書いたりした後に、スピーチやメッセージを作成する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第2学年） ・第1、2学年において学習したペアでディベートをしたり、必要な情報をメモしたりするなどの活動を踏まえ、グループでスピーチをしたり、地元についてPRしたりした後に、中学校の思い出について原稿を書いて、発表する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第3学年） <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 総ページ数 159 ページ、前回より約 31%減 ・第2学年 総ページ数 159 ページ、前回より約 31%減 ・第3学年 総ページ数 151 ページ、前回より約 31%減
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 英語の学習方法を紹介する「この教科書で学ばみなさんへ」（全学年）や、辞書の使い方を紹介するページ（全学年）を設けたり、巻末に「英語で『できるようになったこと』リスト」（全学年）を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「QR」マーク（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 札幌市に関するインタビューを位置付けたり、札幌市の雪像や味噌ラーメンを取り扱ったりするなど、北海道の素材を第2学年で3ページ取り扱っている。</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

別紙様式 1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容	15・三省堂	第1学年 第2学年 第3学年	英語・703 英語・803 英語・903	NEW CROWN English Series 1 NEW CROWN English Series 2 NEW CROWN English Series 3
				<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の自己紹介や人物紹介を聞いたり、大切なものについてのスピーチを聞き取ったりする活動（第1学年）、将来の夢についてのスピーチを聞いたり、図書館の案内放送の内容について聞き取ったりする活動（第2学年）、町や地域についてのスピーチを聞いたり、避難訓練のアナウンスの内容を聞き取ったりする活動（第3学年） <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の自己紹介や人物紹介を読んだり、文具店のチラシの情報を読み取ったりする活動（第1学年）、英語の本の紹介記事を読んだり、ニュージーランドの先生からのメールの内容を読み取ったりする活動（第2学年）、音楽についての記事を読んだり、漫画とアニメについて紹介する文章の内容を読み取ったりする活動（第3学年） <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなスポーツや食べ物について尋ね合ったり、メモを基にペアで話したりする活動（第1学年）、夏休みの出来事について尋ね合ったり、遠足の行き先を考えて理由とともに提案したりする活動（第2学年）、行きたい場所について尋ね合ったり、空き地の利用についてのディスカッションをしたりする活動（第3学年） <p>○ 「話すこと [発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切なものについて発表したり、紹介したい人物についてスピーチをしたりする活動（第1学年）、将来の夢やしてみたいことについて発表したり、自分の町についてスピーチをしたりする活動（第2学年）、日本限定アイスクリームのアイデアについて発表したり、町や地域の文化について紹介したりする活動（第3学年） <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・English Camp の申込書を書いたり、町の魅力を発信するタウンガイドを書いたりする活動（第1学年）、アンケートを基に考えを整理してレポートを書いたり、修学旅行の企画書を書いたりする活動（第2学年）、おすすめの日本語を伝える文を書いたり、20歳の自分に伝えたいメッセージを書いたりする活動（第3学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、おすすめの場所とその理由を整理したり、分担して原稿を作成したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第1学年）、「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、修学旅行のプランについて提案する内容を考えたり、企画書をまとめたりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第2学年）、「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、国際交流イベントで地域の紹介をする発表原稿を書いたり、発表を聞く審査員になったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第3学年）
				<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校において学習した自己紹介や人物紹介を聞いたり、好きなスポーツや食べ物を尋

<p>内容の分量等・排列</p>	<p>ね合ったりするなどの活動を踏まえ、メモを基にペアで話したり、英語のタウンガイドを作成したりした後に、大切なものについて発表する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第1学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年において学習したおすすめの物について紹介したり、聞き手が必要な情報を聞き取ったりするなどの活動を踏まえ、将来の夢を紹介したり、アンケート結果を基に企画書を作成したりした後に、ディスカッションをする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第2学年） ・第1、2学年において学習したおすすめを紹介したり、聞き手が必要な情報を聞き取ったりするなどの活動を踏まえ、日本限定のアイスクリームを提案したり、町や地域の文化について発表したりした後に、ディスカッションをする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第3学年） <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 総ページ数 147 ページ、前回より約 11%増 ・第2学年 総ページ数 125 ページ、前回より約 25%減 ・第3学年 総ページ数 129 ページ、前回より約 11%減
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 英語の学習方法を紹介する「この教科書のしくみ」（全学年）や、辞書の使い方などを紹介するページ（全学年）を設けたり、巻末に振り返りのための「What Can I Do?」（全学年）を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、バーコード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 北海道の旅行についての対話を位置づけたり、北海道のおすすめの場所を取り扱ったりするなど、北海道の素材を、第3学年で1ページ取り扱っている。</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

別紙様式 1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	英語・704 英語・804 英語・904	ONE WORLD English Course 1 ONE WORLD English Course 2 ONE WORLD English Course 3
				<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の自己紹介や人物紹介を聞いたり、アンケート結果の発表を聞き取ったりする活動（第1学年）、将来の夢についてのスピーチを聞いたり、短期留学プログラムについての情報を聞き取ったりする活動（第2学年）、卒業スピーチを聞いたり、ショッピングモールのアナウンスの概要を聞き取ったりする活動（第3学年） <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介や人物紹介を読んだり、ピクトグラムについての文章の内容を読み取ったりする活動（第1学年）、ハロウィーンについての記事を読んだり、職場体験で学んだことについての文章の内容を読み取ったりする活動（第2学年）、自然保護についての記事を読んだり、スポーツ選手を紹介する文章の内容を読み取ったりする活動（第3学年） <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの出来事について尋ね合ったり、様々な話題についてチャットをしたりする活動（第1学年）、過去にしていたことについて尋ね合ったり、盲導犬の記事について自分の意見や気持ちを伝え合ったりする活動（第2学年）、経験したことについて尋ね合ったり、プレゼンテーションについての感想を伝え合ったりする活動（第3学年） <p>○ 「話すこと [発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の結果について発表したり、自己紹介や人物紹介をしたりする活動（第1学年）、将来の夢について発表したり、グループで日本の文化について紹介したりする活動（第2学年）、あったらいいと思う商品やサービスについてCMを作って発表したり、卒業スピーチをしたりする活動（第3学年） <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その日の出来事について日記を書いたり、オリジナルの標識について説明する文を書いたりする活動（第1学年）、マッピング図を基にまとめた文を書いたり、行ってみたい名所について紹介する文を書いたりする活動（第2学年）、自分の考えを具体的に伝える文を書いたり、卒業スピーチの原稿を書いたりする活動（第3学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、アンケート調査を行ったり、結果をグラフにまとめて発表したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第1学年）、「Project 1」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチ原稿を書いたり、スピーチを聞いて感想を言ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第2学年）、「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、スピーチ原稿を書いたり、スピーチを聞いて感想を言ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第3学年）
				<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校において学習した自己紹介や人物紹介をしたり、夏休みの思い出について伝え

<p>内容の構成・排列</p>	<p>合ったりするなどの活動を踏まえ、人について尋ね合ったり、予定について伝え合ったりした後に、町にあるものやないものについて伝え合う内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第1学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年において学習した旅行の計画について伝え合ったり、ガイドからの情報を理解したりするなどの活動を踏まえ、自分の意見や知っていることを述べたり、理由を添えて説明したりした後に、人や物を比べて違いを伝える内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第2学年） ・第1、2学年において学習した観光地の説明を聞いて内容を把握したり、スピーチから情報を理解したりするなどの活動を踏まえ、経験したことを伝えたり、人や物について説明したりした後に、ディスカッションやディベートをする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第3学年） <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 総ページ数 163 ページ、前回より約 22%減 ・第2学年 総ページ数 167 ページ、前回より約 13%減 ・第3学年 総ページ数 167 ページ、前回より約 11%減
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 英語の学習方法を紹介する「How to Study」（全学年）や、辞書の使い方を紹介する「辞書についていっしょに学ぼう！」（全学年）を設けたり、巻末に「Can-Do 自己チェックリスト」（全学年）を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ <u>北海道の観光名所についての対話を位置付けたり、北海道の自然保護やスポーツ選手を取り扱ったりするなど、北海道の素材を第1学年で8ページ、第2学年で1ページ、第3学年で12ページ取り扱っている。</u></p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

別紙様式 1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年	英語・705 英語・805 英語・905	Here We Go! ENGLISH COURSE 1 Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Here We Go! ENGLISH COURSE 3
				<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の自己紹介や人物紹介を聞いたり、ラジオの中継の内容を聞き取ったりする活動（第1学年）、天気予報を聞いたり、空港や機内放送のアナウンスの内容を聞き取ったりする活動（第2学年）、修学旅行の行き先についてのディスカッションを聞いたり、ニュースの概要を聞き取ったりする活動（第3学年） <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の自己紹介や人物紹介を読んだり、学校のウェブサイトの内容を読み取ったりする活動（第1学年）、観光ガイドブックを読んだり、職場体験についてのレポートの内容を読み取ったりする活動（第2学年）、外国の学校についてのブログを読んだり、ボランティアについての手記の内容を読み取ったりする活動（第3学年） <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みにしたいことについて尋ね合ったり、冬休みにしたことについて伝え合ったりする活動（第1学年）、過去にしていたことについて尋ね合ったり、防災バッグの中身について話し合ったりする活動（第2学年）、これまでに経験したことについて尋ね合ったり、プレゼンテーションについての感想を伝え合ったりする活動（第3学年） <p>○ 「話すこと [発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校紹介のウェブサイトの内容を発表したり、自己紹介や人物紹介をしたりする活動（第1学年）、町の観光プランを発表したり、日本の面白いものについて紹介したりする活動（第2学年）、ブログを読んで意見を発表したり、学校に必要なものについての意見を伝えたりする活動（第3学年） <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冬休みの出来事を伝える葉書を書いたり、アルバムに載せる写真の説明を書いたりする活動（第1学年）、予定を伝えるメールを書いたり、町の名物などについて紹介する文を書いたりする活動（第2学年）、投稿文に対する感想や意見を書いたり、自分の気持ちを伝える手紙を書いたりする活動（第3学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「You Can Do It! 3」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、ウェブサイトの学校紹介の内容について考え、発表したり、コメントし合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第1学年）、「You Can Do It! 1」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、条件に合った観光プランを考えたり、観光プランを発表したりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第2学年）、「You Can Do It! 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、学校に必要なものについての意見を読んだり、自分の意見を伝え合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第3学年）
				<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校において学習した自己紹介や人物紹介をしたり、友達のできることについて尋ね

<p>内容の分量等・排列</p>	<p>合ったりするなどの活動を踏まえ、夏休みの予定について伝え合ったり、人について尋ね合ったりした後に、何をしている写真かについて説明する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第1学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年において学習した過去にしたことについて伝え合ったり、日記からの情報を理解したりするなどの活動を踏まえ、予定について尋ね合ったり、意見や理由などを述べたりした後に、人や物を比べて説明する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第2学年） ・第1、2学年において学習した海外の中学校生活の説明を読んで内容を把握したり、意見を述べ合ったりするなどの活動を踏まえ、経験したことを伝えたり、人や物について説明したりした後に、議論に参加して意見を述べる内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第3学年） <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 総ページ数 175 ページ、前回より約 1%減 ・第2学年 総ページ数 175 ページ、前回より約 4%増 ・第3学年 総ページ数 175 ページ、前回より約 9%増
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 英語の学習方法を紹介する「英語の学び方ガイド」（全学年）や、辞書の使い方などを紹介する「Your Coach」（第1学年）を設けたり、巻末に振り返りのための「CAN-DO List」（全学年）を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 北海道の観光地の音声案内を聞き取る活動を位置付けたり、旅行の行き先として北海道を取り扱ったりするなど、北海道の素材を、第2学年で2ページ、第3学年で1ページ取り扱っている。</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

別紙様式 1

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	61・啓林館	第1学年 第2学年 第3学年	英語・706 英語・806 英語・906	BLUE SKY English Course 1 BLUE SKY English Course 2 BLUE SKY English Course 3
取扱内容	<p>○ 「聞くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介や人物紹介を聞いたり、コマーシャルの内容を聞き取ったりする活動（第1学年）、災害発生時の注意を聞いたり、天気予報の内容を聞いて天気や気温を聞き取ったりする活動（第2学年）、昔の家電製品についてのクイズを聞いたり、ツアーガイドの案内の情報を聞き取ったりする活動（第3学年） <p>○ 「読むこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介や冬休みの思い出を読んだり、日本のマンガ文化についての文章の内容を読み取ったりする活動（第1学年）、シンガポール旅行のマナーを読んだり、手話ロボットについての文章の内容を読み取ったりする活動（第2学年）、シカ踏切についての記事を読んだり、歴史的な出来事についての文章の内容を読み取ったりする活動（第3学年） <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段することや好きなものについて尋ね合ったり、ファストフード店で注文したりする活動（第1学年）、昨夜していたことについて尋ね合ったり、やってみたいスポーツを尋ね合ったりする活動（第2学年）、週末や最近の出来事について尋ね合ったり、制服が必要かどうかについてディスカッションしたりする活動（第3学年） <p>○ 「話すこと [発表]」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て何をしているところかを発表したり、自己紹介や人物紹介をしたりする活動（第1学年）、動物の生態を発表したり、学校や教室でのルールを留学生に説明したりする活動（第2学年）、自分の住む町の名所・名物を発表したり、外国の人には有名な日本人について説明したりする活動（第3学年） <p>○ 「書くこと」については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューを基に人物紹介を書いたり、その日の出来事について日記を書いたりする活動（第1学年）、自分の部屋にあるものを書いたり、非常用持出袋に入れたい防災用品とその理由を書いたりする活動（第2学年）、自分の好きな有名人を説明する文を書いたり、中学校生活の思い出を書いたりする活動（第3学年） <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、友達や先生の紹介をしたり、紹介文を友達と交換し感想を伝え合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第1学年）、「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、憧れの職業についてスピーチをしたり、スピーチを聞いて質問し合ったりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第2学年）、「Project 2」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本の伝統行事の紹介文を書いたり、原稿を交換して読み合いアドバイスをしたりするなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動（第3学年） 			
	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校において学習した名刺を作ったり、小学校の思い出の行事を言ったりするなどの 			

<p>内容の分量・構成等・排列</p>	<p>活動を踏まえ、友達や憧れの人のことを紹介したり、過去の出来事について尋ね合ったりした後に、その日の出来事について日記に書く内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第1学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年において学習した文を読んで記事の内容を理解したり、絵本について説明したりするなどの活動を踏まえ、自分の考えに理由を加えて発表したり、紹介したいものに説明を加えたりした後に、睡眠時間の長さを比較して発表する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第2学年） ・第1、2学年において学習した文を読んで講演の内容を理解したり、会話を聞いて内容を理解したりするなどの活動を踏まえ、人や物について情報を加えて説明したり、事実とは違う願望を言ったりした後に、ディスカッションをする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫（第3学年） <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 総ページ数 151 ページ ・第2学年 総ページ数 159 ページ ・第3学年 総ページ数 143 ページ
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 英語の授業で使う表現をまとめた「Classroom English」（第1学年）や「こんなときどう言うの？」（第2、3学年）や、Unitの学習を振り返る「Targetのまとめ」（全学年）を設けたり、巻末に「Can-Doリスト」（全学年）を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒にとって読みやすいフォントや識別しやすい配色を用いるとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 北海道のスープカレーを取り扱ったり、クリオネの生態について書かれた文を読む活動を位置付けたりするなど、北海道の素材を、第2学年で3ページ、第3学年で2ページ取り扱っている。</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>